

## 平成 18 年度卒業生アンケート調査報告

### 調査の目的と方法

自己点検・評価委員会では平成 19 年 3 月の本学卒業生に対し、在学期間中の（１）学習、（２）学生生活、（３）学園の施設・設備、（４）総合評価のそれぞれについて、卒業式の当日にアンケート調査を行った。その集計結果がまとまったので報告する。

このアンケート調査は、平成 14 年度以来継続している卒業生調査の延長線上にあるものであり、質問 4 の変更以外は、前年調査時の質問項目を踏襲した。

調査の概況は（表 1）のとおりである。

（表 1） 調査対象（卒業生）数、回収数、回収率

学 科	卒業生数	回収数			回収率
		記名	無記名	計	
人間社会学科	110	95	0	95	86.4%
マス・コミュニケーション学科	128	121	0	121	94.5%
環境デザイン学科	50	47	0	47	94.0%
経営社会学科	59	56	0	56	94.9%
全学合計	347	319	0	319	91.9%

### 調査結果

アンケート調査は 4 つの側面に分けられた 32 項目の設定問で構成され、各質問項目について 5 つの選択肢から 1 つを選んでもらった。選択肢は次のとおりである。

- あてはまると思う・そう思う
- ややあてはまる・ややそう思う
- どちらとも言えない
- ややあてはまらない・ややそう思わない
- あてはまらない・そう思わない

（表 2）に調査の集計結果（全学集計）を示した。選択肢 から までをそれぞれ 5 ポイントから 1 ポイントまでの評点に置き換えて算出した各質問項目の回答の平均値を右端の欄に掲載した。（選択肢 = 5 ポイント、 = 4、 = 3、 = 2、 = 1）

(表2)平成18年度卒業生アンケート集計結果(全学集計表)

設 問		選択肢ごとの回答比率(%)					合計	評点 平均
1. 学修について								
1	英語の力がついた	6.6%	14.8%	36.2%	23.9%	18.6%	318	2.7
2	海外研修は有意義だった(参加しなかった人は をつけないで下さい)	70.1%	16.5%	6.7%	2.2%	4.5%	224	4.5
3	大学から貸与されたパソコンをよく利用した	71.7%	15.2%	8.9%	2.5%	1.6%	315	4.5
4	ワードやエクセルなどの基本的なソフトの知識が、MOS資格受験程度まで到達した	8.2%	16.7%	29.7%	19.6%	25.9%	317	2.6
5	大学生活で教養が身についた	30.0%	37.9%	24.0%	6.6%	1.6%	317	3.9
6	専門分野についての知識が身についた	26.3%	36.6%	26.9%	6.9%	3.4%	319	3.8
7	卒業後の進路選択のための授業(講座)を増やしてほしいかった	26.3%	27.9%	35.4%	5.6%	4.7%	319	3.7
8	有料でも良いので資格取得のための講座を開設してほしいかった	30.5%	25.2%	28.9%	10.4%	5.0%	318	3.7
9	設置科目など、カリキュラムは満足できるものであった	17.9%	36.8%	37.1%	6.0%	2.2%	318	3.6
10	シラバスを検討して履修科目を選んだ	34.2%	31.3%	21.3%	9.7%	3.4%	319	3.8
11	履修モデルを参考にして履修科目を選んだ	14.8%	23.9%	28.6%	16.4%	16.4%	318	3.0
12	図書館をよく利用した	35.2%	30.8%	20.8%	10.4%	2.8%	318	3.9
13	高校までの勉強が足りなかった	30.5%	23.9%	27.4%	9.1%	9.1%	318	3.6
2. 学生生活について								
14	在学中は、よく勉強した	11.3%	26.0%	37.6%	17.2%	7.8%	319	3.2
15	在学中は、部活・クラブ中心の生活だった	15.1%	15.1%	15.1%	15.1%	39.6%	318	2.5
16	在学中に多くの本(マンガ以外)を読んだ	16.7%	23.7%	28.4%	18.6%	12.6%	317	3.1
17	大学生活を終えて、自分は成長したと感じた	40.9%	35.2%	19.5%	3.5%	0.9%	318	4.1
18	就職活動を積極的に行った	31.8%	23.3%	23.3%	11.9%	9.7%	318	3.6
19	大学通学のための家族の経済的負担は大きかった	45.0%	27.4%	15.4%	7.5%	4.7%	318	4.0
20	学費をかせぐためのアルバイトが欠かせなかった	22.6%	17.9%	25.2%	15.4%	18.9%	318	3.1
21	通学時間の長さや混雑が負担だった	22.4%	18.3%	22.8%	11.5%	25.0%	312	3.0
22	よい友人ができた	68.9%	15.6%	7.6%	3.8%	4.1%	315	4.4
23	他の学生とのトラブルが多かった	4.7%	5.0%	10.7%	20.7%	58.9%	319	1.8
24	教員とのトラブルが多かった	3.5%	5.7%	11.0%	18.2%	61.6%	318	1.7
25	職員とのトラブルが多かった	3.5%	4.4%	11.0%	17.6%	63.5%	318	1.7
26	江戸川大学の学生のマナーは良いほうである	11.3%	14.5%	35.5%	23.0%	15.7%	318	2.8
3. 施設・設備について								
27	教室などの教育関連施設に満足できた	18.6%	30.8%	30.2%	14.2%	6.3%	318	3.4
28	図書館に満足できた	32.6%	36.1%	21.9%	6.0%	3.4%	319	3.9
29	Web環境に満足できた	44.2%	29.2%	19.4%	4.4%	2.8%	319	4.1
30	体育関連施設に満足できた	10.7%	13.9%	38.8%	20.5%	16.1%	317	2.8
31	食堂に満足できた	12.9%	19.7%	29.2%	21.3%	16.9%	319	2.9
4. 総合評価								
32	江戸川大学に入学してよかった	47.8%	29.2%	19.8%	2.8%	0.3%	318	4.2

## 調査結果の要点

アンケート調査の集計結果から、次のような特徴を指摘することができると思われる。

### 1. 「学習について」の設問に対する回答

- ・大学から貸与されたパソコンの活用やその基本的ソフトの習熟について良い評価をする回答が多い。
- ・海外研修（参加者のみの回答）が有意義であったとする回答が多い。
- ・英語の力がついたかどうかを問う設問に否定的な回答が多い。
- ・前回調査時の質問項目「ワードエクセルなどの基本的なソフトを使えるようになった」では評点 4.1 であったが、今回は「ワードエクセルなどの基本的なソフトの知識が、MOS資格受験程度まで達成した」という、具体的かつ少し高めのバーを有する質問項目に変わったためか、評点が 2.6 に下がっている。

### 2. 「学生生活について」の設問に対する回答

- ・前回の調査とほぼ同様の回答結果が得られている。
  - ・よい友人ができたと思うかとの設問に肯定的な回答が多い。
  - ・他の学生や教職員とのトラブルについては少なかったとする回答が多い（多かったとする回答が少ない）。
  - ・大学生活を通じて「自分は成長した」と感じている学生が比較的多い。
  - ・家族の経済的負担が大きかったとする回答がかなりある。
  - ・在学中によく勉強したと思うかとの設問には肯定的な回答がやや少ないが、部活やクラブ活動中心の生活だったかという問いにも肯定的回答は少ない。
  - ・江戸川大学生のマナーについて批判的な意見が多いことがうかがえる。

### 3. 「施設・設備について」の設問に対する回答

- ・体育施設と食堂についての満足度は高くない。

### 4. 「総合評価」の設問に対する回答

- ・設問は「江戸川大学に入学してよかったと思うか」の1問であり、「そう思う」と「ややそう思う」という回答の合計が全体の 77.0%（前回 78.7%）となっている。

### 時系列比較（参考データ）

時系列的な変化の有無を知るための参考データとして、前回までの調査とほぼ同趣旨の質問項目について、選択肢「あてはまる・そう思う」と、「ややあてはまる・ややそう思う」と回答した者の合計比率（同意率）を経年的に比較した（表3）。

「学習」に関しても「学生生活」に関しても、多くの項目についてポジティブな評価が増えている。とくに6「専門分野についての知識が身についた」については、前年比10ポイント程度の上昇がみられる。ただし今回の質問項目の変更部分、4「(略)MOS資格受験程度まで到達した」に関しては、ポジティブな評価は多くない。

施設・設備については、27 教室などの教育関連施設、28 図書館、29Web 環境、30 体育関連施設、31 食堂、すべてにおいて平成17年度に比較して満足度が向上しているといえる。これはE棟スロープや新体育館の完成、図書館の外部委託など、ハード、ソフト両面における改善がもたらした結果と考えられる。

(表3) 卒業生アンケートの経年的変化(設問への同意率の時系列比較)

設 問	回 答 + の比率				
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
1. 学修について					
1 英語の力がついた	18.8	14.5	20.2	20.4	21.4%
2 海外研修は有意義だった(参加しなかった人は をつけないで下さい)	68.6	64.7	56.4	88.1	86.6%
3 大学から貸与されたパソコンをよく利用した	-	-	-	85.8	87.0%
4 ワードやエクセルなどの基本的なソフトを使えるようになった(18年度は基本的なソフトの知識が、MOS資格受験程度まで到達した)	-	-	-	75.9	24.9%
5 大学生活で教養が身についた	54.5	59.0	56.0	62.1	67.8%
6 専門分野についての知識が身についた	38.8	44.4	43.1	52.9	62.8%
7 卒業後の進路選択のための授業(講座)を増やしてほしいと思った	-	-	-	62.8	54.2%
8 有料でも良いので資格取得のための講座を開設してほしいと思った	-	-	-	56.9	55.7%
9 設置科目など、カリキュラムは満足できるものであった	-	-	29.6	47.1	54.7%
10 シラバスを検討して履修科目を選んだ	52.5	42.3	28.8	61.4	65.5%
11 履修モデルを参考にして履修科目を選んだ	16.0	24.6	24.1	33.0	38.7%
12 図書館をよく利用した	55.1	52.3	49.0	57.7	66.0%
13 高校までの勉強が足りなかった	41.6	43.9	41.6	51.8	54.4%
2. 学生生活について					
14 在学中は、よく勉強した	38.1	25.2	36.4	32.4	37.3%
15 在学中は、部活・クラブ中心の生活だった	23.3	28.9	28.3	25.3	30.2%
16 在学中に多くの本(マンガ以外)を読んだ	-	-	-	34.4	40.4%
17 大学生活を終えて、自分は成長したと感じた	62.2	69.1	63.3	71.8	76.1%
18 就職活動を積極的に行った	-	-	-	51.3	55.0%
19 大学通学のための家族の経済的負担が大きかった	60.8	58.4	58.0	74.8	72.3%
20 学費をかせぐためのアルバイトが欠かせなかった	-	21.3	22.1	39.5	40.6%
21 通学時間の長さや混雑が負担だった	35.3	32.9	29.7	36.2	40.7%
22 よい友人ができた	83.7	88.3	80.8	87.4	84.4%
23 他の学生とのトラブルが多かった	9.6	9.6	9.7	6.2	9.7%
24 教員とのトラブルが多かった	10.5	7.8	8.9	4.2	9.1%
25 職員とのトラブルが多かった	9.4	9.8	8.6	5.0	7.9%
26 江戸川大学の学生のマナーは良いほうである	-	-	-	18.2	25.8%
3. 施設・設備について					
27 教室などの教育関連施設に満足できた	-	-	24.2	39.9	49.4%
28 図書館に満足できた	-	-	37.4	62.3	68.7%
29 Web環境に満足できた	-	-	34.2	66.7	73.4%
30 体育関連施設に満足できた	-	-	28.7	16.5	24.6%
31 食堂に満足できた	-	-	39.9	26.3	32.6%
4. 総合評価					
32 江戸川大学に入学してよかった	59.8	66.9	60.3	78.7	77.0%

注「-」は該当なし